



すい臓がんもステージ1から



GOOD DESIGN
AWARD 2024

miSignal^{マイシグナル}

尿がんリスク検査は マイシグナル^{※1} 世界初

マイシグナル[®]は少しの尿で手軽にがんのリスクを
調べられるがんリスク検査です。

高精度なAIで、がんリスクを早期発見

miSignal^{マイシグナル} SCAN

尿をとるだけ!



ノーベル賞を受賞した
「マイクロRNA」を実用化!

医療機関導入
1,500
軒以上

第37回
中日産業技術賞
中日
新聞社賞



がんの不安、そのままに
していませんか?

つらい治療は
受けたくない

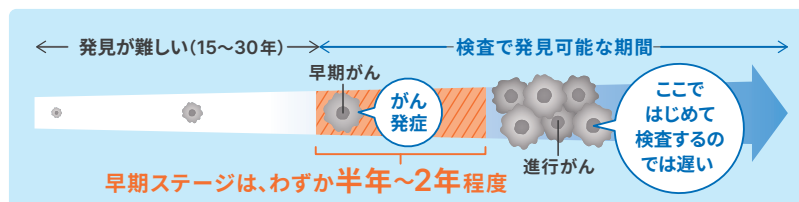
がん家系
だから心配...

お金が
心配...



がん治療で最も大切なこと、それは**早期発見**です。
しかし、早期発見には**タイムリミット**があります。

一般的に検査で発見可能な早期がんの期間
は短く、がんによっては**半年～2年程度**と言
われているものもあります^{※2}。定期的な検査
で早期発見のタイミングを逃さないことが
重要です。 **がん進行スピードの例 ▶**



定期的なリスクの確認で早期発見のタイミングを逃さないことが重要

予約に関する
お問い合わせ

西大宮にっこり
ファミリークリニック

TEL 048-871-8723

尿ですい臓がんのリスク検査 マイシグナル・スキャン

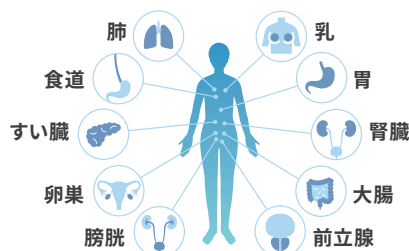
全国約50の大学病院・がん研究センターとの長年の共同研究の末、誕生。
20以上の特許技術※3を用いた、マイクロRNAがんリスク検査です。



ノーベル賞を受賞した
「マイクロRNA」を実用化！

すい臓がんだけでなく、
男女計10がん種を一度に。

男性のがん死亡者数1位の肺がん、女性で1位の
大腸がん※4を含む、男女計10種のがんリスクを
一度に、がん種別で調べることができます。



乳がん・卵巣がんは女性のみ、前立腺がんは男性のみ

医療機関導入
1,500軒以上。

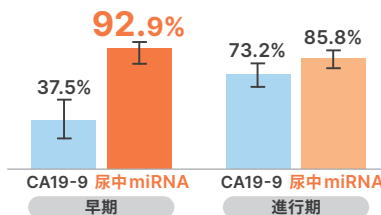
高い信頼性から、日本全国の1,000以上の
医療機関に導入されています。



尿のマイクロRNA検査は、
早期すい臓がんの検出性能が
優れています

尿中マイクロRNA検査は早期がん（ステージI/IIA）の
感度が92.9%と、従来のすい臓がん血液マーカーである
CA19-9よりも検出性能が優れていることが示されました。

血液マーカー CA19-9と尿中マイクロRNAの
すい臓がん検出感度※5（ステージ別）



痛みや
身体的な
負担ゼロ！

短時間で終わる

サポートセンターで安心

運動制限なし

検査後にやるべきことが明確

痛くない

食事制限なし



マイシグナル®の検査を行う
「Craif中部検査センター」は
衛生検査所として都道府県知
事の登録を受けております。

詳細な検査結果をまとめた見やすい結果表で、万一の検査後のステップを明示



万が一「がんの疑い
あり」となった場合も、
がんの種類ごとに
受診すべき診療科が
明確です。



尿を
採るだけ！

簡単3ステップの
検査フロー

1 検査申込

2 採尿、
提出

3 検査結果を
お届け

検査メニューについて

(税込)

セットに含まれるがん種

		大腸	肺	胃	乳房	すい臓	食道	卵巣	膀胱	腎臓	前立腺
オール・イン・ワン	男性	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	女性	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

67,000円

医療機関によって受けられるセットが異なりますので、詳細は医療機関にお問い合わせください

注意事項



妊娠中、生理中の方、また20
歳未満の場合は本検査は受
検できません。

※マイシグナル・シリーズは医療機器ではありません。解析した情報を統計
的に計算することによりリスクを判定するものであり、医療行為としてがん
に罹患しているかどうかの「診断」に代わるものではなく、リスクが低いと判定さ
れた場合でもがんが無いまたは将来がんにかからないとは限りません。※が
んの再発、転移について確認するための検査ではありません。

本検査に関するお問合せ

TEL マイシグナル
カスタマーサポート
0120-934-362

10:00-16:00
(土・日・祝日、年末年始除く)

※1 尿×AI×マイクロRNAを用いたがんリスク検査サービスとして（第三者機関調査）※2 文部科学省「がん教育推進のための教材」スライド教材モ
ジュール3：がんの発生と進行 ※3 出願中も含む ※4 2021国立がん研究センターのホームページより ※5 本研究成果は世界五大医学雑誌の1つ
Lancetの姉妹紙(eClinicalMedicine)に掲載されました。eClinicalMedicine. 2024; 78: 102936.